

火	1	赤口	
水	2	先勝	
木	3	友引・憲法記念日	定休日
金	4	先負・みどりの日	
土	5	仏滅・こどもの日	
日	6	大安	定休日
月	7	赤口	
火	8	先勝	
水	9	友引	
木	10	先負	
金	11	仏滅	
土	12	大安	
日	13	赤口	定休日
月	14	先勝	
火	15	仏滅	
水	16	大安	
木	17	赤口	プチ茶会
金	18	先勝	プチ茶会
土	19	友引	プチ茶会
日	20	先負	定休日
月	21	仏滅・小満	
火	22	大安	
水	23	赤口	
木	24	先勝	
金	25	友引	
土	26	先負	
日	27	仏滅	定休日
月	28	大安	
火	29	赤口	
水	30	先勝	
木	31	友引	



月刊ギャラリーさん 会いふれあい 全国茶の湯紀行
第30回は【美のチカラ「金沢 大茶の湯」】です

2018年3月17日→5月26日、金沢美術倶楽部100周年記念「金沢 大茶の湯」が開催されています。期間中は記念茶会記念展覧会など多数のイベントがある。

- ◆渾身の展覧会三部作。三会場同時開催で《重文》大井戸茶碗「筒井筒」、長次郎黒楽茶碗「北野」、黄瀬戸茶碗「朝比奈」はじめ名品が多数出展される
- ① 「美の力」展 → 石川県立美術館 写真①
 - ② 「POWER OF ART」展 → 金沢21世紀美術館「市民ギャラリーA」
 - ③ 「茶事の妙」展 → 金沢市立中村記念美術館

ちよっといづく「マメ知識」「金沢 あれこれ」part①



写真② 仙叟宗室居士邸地跡

加賀藩祖・前田利家と、嫡子で二代藩主・利長は千利休から茶の湯を学び、裏千家四代仙叟宗室は利長から五代綱紀に仕えており、加賀藩主・前田家は千家と深い関わりがある。さらに小堀遠州や金森宗和ら有力茶人との交流をととして、前田家は独自の茶道文化を主導した。その特徴は茶の湯を広く奨励したことであり、家臣のみならず町人、職人も茶の湯をたしなみ、高い美意識が生活の中に取り入れた。その伝統は今日まで連続として継承されており、当地には全国的に注目される茶道美術の逸品が数多く集まった。今回の特集は、4月21日から始まる企画展「美の力」に関連して、館藏品・寄託品の中から企画展に出品されない名品を選んで展示します。一例として、絵画では久隅守景の《四季耕作図》(浅野家本)が注目されます。中国風俗によりながらも、本作には季節とともに生活する人々の表情が、多少のユーモアを交えながら豊かに描かれています。伝統的な画題に、どのように独自性を発揮してゆかという課題に対する守景の一つの回答として、「美の力」に展示される重文の《四季耕作図》と合わせて是非ご覧いただきたいと思えます。そして守景が金沢で活躍した時代は、楽・長次郎を始祖とする4代一入の高弟・大樋長左衛門が染焼の技術を仙叟の指導のもとに新たに展開し、大樋焼として意欲的な作品を生み出していった時期にあたります。こうした当地ゆかりの個性豊かな芸術家の競演も、本展の見所となっています。 —石川県立美術館HPより—



写真③ 仙叟宗室居士邸地跡

写真② 仙叟宗室居士邸地跡: 3代利常の引きで小松城三の丸で茶道奉行として仕え、利常没後金沢に移り、200坪の邸地を賜って住した。この地は仙叟居士の一部分で大樋焼の近くにある。



元祖大樋焼 長左衛門

写真③ 高岡山瑞龍寺: 前田利長公の菩提寺。江戸初期・禅宗に典型的な建物群である。仏殿、法堂、山門が国宝に、総門、禅堂、高廊下、回廊、大茶堂が重要文化財に指定されている。



5/ 17木 18金 19土

裂地製品処分市

若手新進作家お買得市

於 1階小間席 9:00am → 4:00pm

プチ茶会ではこの水指を使用させていただきます

佐久間芳山 瀬戸釉一重口水指

曾根幸風 山水水指

¥ 38,000

【曾根幸風】
1936年京都生まれ。1957年人間国宝 富本憲吉に陶画師事。1973年京都洛東東山に幸風窯を開窯。染付磁器を中心に掛物などの絵画も研鑽する。

大野瑞峰 萩茶碗

¥ 9,000

【4代諏訪蘇山】
3代諏訪蘇山の三女名は紀紀 母は12代中村宗哲 伝統的な蘇山青磁と女性らしい造形でオリジナル性溢れる作品を製作する

4代諏訪蘇山 青磁茶碗

¥ 18,000

【豊場惺也】
名古屋市に生まれ、市立工芸高校木工科卒業後、荒川豊蔵の内弟子となり、多治見市虎渓山「水月窯」で修業。1974年大萱に半地上式穴窯と登窯「窯下窯」を築き独立。豊蔵の教えを守りつつ独自の作風を追求。

荒川豊蔵から直接指導を受けた数少ない陶工

豊場惺也 粉引鉢 ¥ 20,000

加藤光右衛門 美濃伊賀鉢 ¥ 38,000

坪島土平 灰釉楓鉢 ¥ 58,000

中村良二 茶碗 定価 各¥19,000 華乃会価格 ¥ 15,200 誕生月サービス価格 ¥ 13,300



◆昭和30年生。中村秋峰の弟。中村翠嵐・中村秋峰に師事。

..編集の窓..



花筏 photo by S,A

花筏とは一般的に、桜の花が散り、水面を流れる花びらの群れを筏に見立てたものだが、この植物の名前の由来は葉つばの中心に花を乗せた様子を筏に見立てたもの。ハナイカダ科の落葉低木で、山地の木陰に生える。初夏、葉面の中央部に淡緑色の花をつけ、夏に黒色の丸い実を結ぶ。別名ヨメノナミダ(嫁の涙)と言われ、嫁が姑に辛い思いをさせられ、山の中で流した涙が花筏の葉に落ちて花になったといわれている。

ギャラリー森田ホームページ
http://www.gallery-morita.co.jp/
gallery morita スタッフぶろぐ
http://ameblo.jp/gallerymorita/
https://www.instagram.com/gallery.morita/

Instagram 始めました

◆不要になりましたお道具 など どうぞお売り下さい。 月刊「ぎやらりさん」編集プロジェクト

ご案内